

Practical Training Program (自治体と連携した実践教育プログラム)

令和5年6月の専門職大学院設置基準の一部改正を受け、令和6年度入学生より、大学院2年次の学修の場を小学校・中学校・高等学校とする“**Practical Training Program**”がスタートしました。連携する自治体の勤務と大学の学びを往還しながら、しっかりとした実践力を付けたい学卒院生対象のプログラムです。



学部4年のウインターセッション等で、以下の**3科目の先取履修**が必修になります。

- ・1 学級経営の実践と課題(2単位)
- ・2 学校経営の研究と実践(2単位)
- ・3 学校の社会的役割と教員の服務(2単位)

* 大学院1年次の春学期、サマーセッション、秋学期は通常履修になります。その他に、通年集中科目（全人教育の理論と実践）を履修します。大学院2年次は、勤務をしながら通年集中科目（学校課題研究）を履修します。

* じっくり実践力を付けたい学卒院生対象の2年課程（標準履修）、新たな校種の実践力を付けたい学卒院生対象の長期課程、勤務前に実践力を確実にしたい5年プログラム（1年）、ミドルリーダーや管理職としての実践力を付けたい現職院生対象の短期課程（1年）も含め、学修者のニーズに応じたカリキュラムを用意しています。

教育・連携プログラム
(実践教育プログラム)
(Practical Training Program)

先取履修
3科目

実習

各自治体における勤務

学校課題研究

学部4年生

大学院1年生

大学院2年生

標準履修(2年課程)

実習

学校課題研究

専門実習および学校課題研究等の履修イメージ